

じぶんで できるよ！

ひかりのくに

5領域
10の姿
との関わり

健
環
言

1
2
6
7
8
9

今日の活動のねらい

- ★サツマイモや芋掘りに関心を持つ
- ★芋掘りの楽しさを味わう

活動時間

20分

タイミング

午前中、
芋掘り行事の前

使う絵本・コーナー

ひかりのくに 10月号
p.2～11

お話

がんばれ！ おいもほり



活動の内容と流れ

絵本を読み、芋掘りへの期待を高める

サツマイモが畑の土の中で大きくなることを伝えて
読み進める

→絵を読み取って、様々な形や色のサツマイモに注目する

→おいもメダルを用意し、芋掘り行事の後に

「一番大きなサツマイモを掘ったのは…〇〇さん！」

「芋掘りをがんばった〇〇組さんにメダルをもらったよ」

など声をかけて、プレゼントする

→サツマイモの絵を描く



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
芋掘りの行事がいつかを
確認しておき、行事の前に
絵本を読めるようにする



○
サツマイモが育つのは農家さん
がお世話をしているからと伝え
て感謝の気持ちを育む

◆
サツマイモ以外の秋の味覚
に触れられるように、写真
を準備し、掲示する

活動後、振り返りのポイント

- ★サツマイモに興味を持ち、芋掘りに期待を持って楽しみにしていたか
- ★お話を通して芋掘りの楽しさを感じていたか

今日の活動のねらい

- ★横断歩道を渡るときの約束を確認する
- ★交通ルールの意識を高める

活動時間

20分

タイミング

外出の前後や
戸外保育の前

使う絵本・コーナー

ひかりのくに 10月号
p.18～25

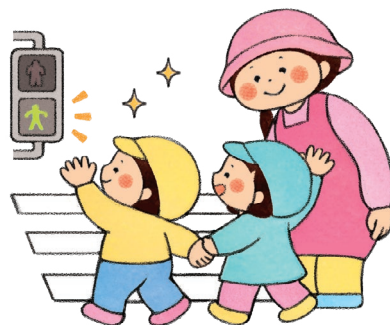
楽しい生活♪
おうだんどうを
わたるの じゅつ



活動の内容と流れ

交通ルールについての話や外出時の約束事を確認する

- ひかりのくにを読み、交通ルールを学ぶ
- 信号の見方や車だけでなくバイクや自転車も道路を走っていて危ないことを伝える
- 信号が青でもすぐに渡らず、左右の確認をする大切さを伝える
- 保育室の出入りに「みぎ・ひだり」の目印を貼っておき、左右が意識できるようにしておく
- 戸外の公園などに行くときに内容を思い出して実践する



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
園庭に擬似横断歩道を作り、
外に出る前に確認できるようにしておく

◆
事前に園の周辺にある横断歩道を把握し、危なそうなところは他の職員にも共有する

○
信号の色には意味があることを伝えてクイズを出し、青信号が点滅したら渡らないと約束する

○
歩道が青信号でも車が来る可能性を伝えて、注意できるようにする



活動後、振り返りのポイント

- ★子どもたちが信号の意味や交通ルールを理解できていたか
- ★絵本で学んだことを活かそうとしていたか

今日の活動のねらい

★秋においしい魚について知り、興味を持つ

★魚を食べたいという意欲につなげる

活動時間

20分

タイミング

昼食前

使う絵本・コーナー

ひかりのくに 10月号

p.12~15

わくわく食育

なにが つれるかな？



活動の内容と流れ

絵本を読んで、秋においしい魚について知り、興味を持つ

ひかりのくにを読んで、魚釣りのごっこ遊びを楽しむ

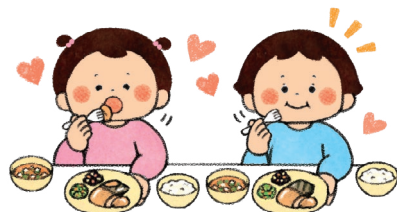
→大きな魚を釣ったり、たくさん釣ったりした後に、

自分や友達は何が食べたいか話し合う

→魚についての絵本や図鑑を見たり、献立に魚が

ある日に給食室の見学に行ったりする

→様々な魚料理に興味を持ち、おいしく食べる



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
事前に今月の献立を見て、
どんな魚料理が出るか
確認しておく

○
昼食のときに、魚料理を実際
に見て「絵本に載っていたね」
などの声をかけるようにする

◆
魚の図鑑や絵本を用意して様々な
種類に気付けるようにしておく

○
「どの魚料理もおもしろいね」
「おうちでも食べたことあるかな」
など声をかけ、家庭でも話が広がる
よう促す



活動後、振り返りのポイント

★秋においしい魚について知り、大切に食べようとする姿につながったか

★友達の発表をしっかりと聞いていたか

5領域
10の姿
との関わり

環
言
表

7
9
10

今日の活動のねらい

★様々な生き物に興味を持つ

★生き物による鳴き声の違いを楽しむ

活動時間

20分

タイミング

午前中

使う絵本・コーナー

ひかりのくに 10月号
p.16-17

写真で見つけた
どんな なきごえ？



活動の内容と流れ

絵本を読み、様々な生き物に興味・関心を持つ

ひかりのくにを読んで、鳴き声の違いに気付く

→クラスで声に出して鳴き声の真似をする

→他にどんな鳴き声の生き物がいるかを聞き、

クラスで意見を共有する

→動物のまねっこ遊びをして楽しむ



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
生き物の写真を用意して、
鳴き声クイズを楽しむ

○
身近な犬や猫の鳴き声はどんな
だったかを子供たちに聞いて、
生き物によって鳴き声が違うこ
とに気付かせる

◆
スピーカーを用意し、
実際の鳴き声が流せる
ようにしておく

○
ハト、カラス、スズメの鳴き声に
ついて聞き、同じ鳥でも種類に
よって鳴き声が違うことを伝える



活動後、振り返りのポイント

★生き物に興味・関心を持っていたか

★鳴き声の違いを楽しんでいたか

今日の活動のねらい

- ★保育者や友達とともに体を動かすことを楽しむ
- ★さまざまな動きに親しみ、身体感覚を育む

活動時間

15分

タイミング
朝の活動後

使う絵本・コーナー

ひかりのくに 10月号
p.28-29

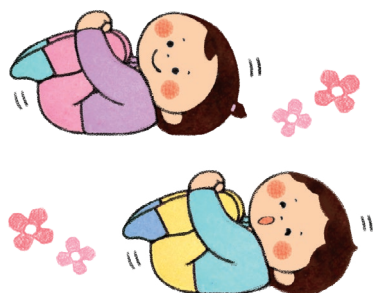
まねっこヨーガ
ねそべり
どんぐりに なろう！



活動の内容と流れ

写真や絵を見て体を動かす

- 図鑑や写真でどんぐりを観察する
- まねっこヨーガのページを見て、保育者と一緒に床に転がり両膝を抱える
- ゆらゆらごろごろ転がり周りと交流する
- 膝を抱えて頭を持ち上げてどんぐりの帽子をかぶる
- 頭をゆっくりおろして、ゆらゆらと体を緩めていく



保育者の◆環境づくりと ○援助

◆
まわりに危険なものがないか
配慮し、子ども同士が心地よく
空間を共有できるようにする

◆
どんぐりが載っている写真や
図鑑を用意したり、園庭や近
くの公園で事前に拾っておく

○
イラストやイメージのような
どんぐりになりきり、保育者
や友達と一緒に自由な表現を
楽しめるようにする

○
一人ひとりの多様な動きや表現
方法を認めながら、のびのびと
繰り返しを楽しむ中で、体の重
心を感じられるようにする



活動後、振り返りのポイント

- ★ポーズをつかって、動きを楽しむことができたか
- ★手や足を意識し、さまざまな体の感覚に気が付くことができたか
- ★一人ひとりの発達に応じた想像、模倣、創造を賞賛できたか
- ★友達と共有の場に親しむことができたか